



地上から一斉放水による大規模火災消火 (夢前町消防団)

平成二五年度 兵庫県・播磨広域・姫路市 合同防災訓練実施!



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通3丁目16番3号
編集発行人 岸谷義雄
題字 井戸知事

消すまでは
心の警報
ONのまま

「防災の日」の九月一日(日)、平成二五年度合同防災訓練実行委員会(兵庫県・播磨広域連携協議会・姫路市)は、姫路市夢前町のスポーツセンターをメイン会場として、平成二五年度合同防災訓練を実施しました。訓練は、九月一日午前九時三〇分頃、山崎断層帯地震が発生し、姫路市内では震度七を観測した想定ではじまりました。姫路市内で多くの家屋が倒壊し、道路、橋、交通機関、水道、ガス、電気、電話等のライフライン施設に甚大な被害が発生、また、土砂崩れや大規模な交通事故により多数の負傷者の発生、道路の一部寸断、市内住宅地では大規模な火災が発生しているという状況を想定し、各会場では各種訓練が行なわれました。当日は大雨の中、官民一三機関、約二、五〇〇人が参加し、本番さながらの真剣な表情で訓練に臨みました。なお、各会場での訓練内容は下記のとおりです。



土砂により埋没した車両からの救出活動



土のう作り



倒壊した家屋からの救出活動

訓練終了後、井戸知事より「大雨で、地震だけでなく風水害の訓練にもなった。成果をこれからの防災・減災対策に生かしたい。」との講評がありました。

- 【訓練内容】
① 夢前スポーツセンター(メイン会場)
救出・救助(埋没車両・倒壊家屋・多重交通事故)訓練/救助所開設訓練/道路啓開訓練/水防工法訓練/ライフライン復旧訓練/大規模火災防ぎよ訓練
② 前之庄小学校(サブ会場)
地震避難訓練/避難誘導訓練/避難所開設・運営訓練/救護物資輸送訓練/応急救護訓練/仮設トイレ設置訓練/資機材取扱い訓練/応急給水訓練/防災教育
③ 夢前福祉センター(サブ会場)
福祉避難所開設・運営訓練及び災害時要援護者受入訓練

この度、私たち丹波市女性消防分団が全国女性消防操法大会への出場機会を頂くことになりました。今までの私たちの活動は、予防消防に関する広報啓発活動中心でしたが、消防ホースすら持ったことのない団員もいるような状態でした。大会に出場するにあたり、前回大会のDVDを見て『これなら出来る』という団員や『無理かも』という団員がいる中で、このような全国大会への出場機会はこの先無いかもしれないと話し合いました。私たち女性消防分団が全国大会へ向けて一丸となって取り組むことが、本来の広報啓発活動に繋がるのではないかと考えて出場を決めました。

しかし、いざ訓練を始める、ホースがこんなにも重く扱いにくいものとは知らず、悪戦苦闘の日々でした。丹波市消防本部、丹波市消防団幹部の方々の指導を受け、一歩進んで二歩下がるといった状態でした。先の見えない訓練でしたが、指導者の方々には根気強く指導していただきました。訓練を開始して二ヶ月ほどは笑顔なんてありませんでした。自宅でDVDを繰り返し見返して動きを確認し、訓練で仲間と合わせていきました。一つ一つの動作を確実にすることにより全体の動作がスムーズになりました。一生分走ったかと思うほど汗を流して走り続けるうちに、楽しさや嬉しさ、気持ち良さが感じられるようになり、団員が一つになった感じがしました。



丹波市女性消防団員の皆さん

仕事が終わってから、家族を思いながらの訓練ですが、この時間だけは全国大会のことだけを考えて走っています。今ではこのような大会に出場できることを大変うれしく感じています。また、熱心に指導してくださる指導員のみならず、大変感謝しています。大会当日はこれまでの訓練の成果を充分発揮できるように頑張ります!

第二回 全国女性消防操法大会に向けて 丹波市女性消防分団

特別警報に相当する過去の災害

気象等	平成24年 7月	九州北部豪雨(大雨)	死者行方不明者32人
	平成23年	台風12号(大雨)	死者行方不明者98人
	昭和34年	伊勢湾台風(大雨・暴風・波浪・高潮)	死者行方不明者5,000人以上
津 波	昭和 9年	室戸台風(大雨・暴風・高潮・波浪)	死者行方不明者3,000人以上
	平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震	死者行方不明者18,000人以上
	平成 5年 7月	北海道南西沖地震	死者行方不明者230人
火 山	昭和58年 5月	日本海中部地震	死者104人(いずれも地震を含む)
	平成12年	三宅島	全島民避難
	平成12年	有珠山	15,000人以上避難
地 震	平成 3年	雲仙岳	死者行方不明者43人
	平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震	死者行方不明者18,000人以上(津波を含む)
	平成20年 6月	岩手・宮城内陸地震	死者行方不明者23人
	平成19年 7月	新潟県中越沖地震	死者15人
	平成16年10月	新潟県中越地震	死者68人
	平成 7年 1月	兵庫県南部地震	死者行方不明者6,437人

気象庁ではこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼び掛けてきました。これに加え、平成25年8月30日(金)午前0時から、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けることとしました。

特別警報が対象とする現象は、東日本大震災における大津波や伊勢湾台風の高潮、平成二三年台風第一二号の豪雨等が該当します。

特別警報が出た場合は、お

特別警報運用開始

気象庁



気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。「特別警報」が発表されたら身を守るために最善を尽くしてください。

なお、特別警報についての詳細な内容は、気象庁ホームページで確認することができますので、是非ご覧ください。

特別警報の発表基準

現象の種類	基 準
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴 風	暴風が吹くと予想される場合
高 潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波 浪	高波になると予想される場合
暴 風 雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

*表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表されています。

現象の種類	基 準
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置付ける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置付ける)
地 震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6以上)を特別警報に位置付ける)



普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります
 災害から身を守るために(大雨の場合)

普段から... 気象情報・空の変化に注意
 Point: 備えは大丈夫?

大雨になるおそれ雨が降り出す
 雨が強くなると... 注意報
 大雨が降り続く... 警報
 さらに激しい雨が降くと... 非常事態
 特別警報

ただちに命を守る行動をとる

「特別警報が発表されない」「災害が発生しない」ではありません。
 これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
 普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

リーフレット

経験したことのないような大雨や暴風などが予想される時に、「特別警報」を発表します。

命を守るために知ってほしい
特別警報

「特別警報」と聞いたら危険な場所からとにかく離れて命を守って!

大雨、高潮、津波、暴風、大雪、暴風雪、地震、津波、噴火

特別警報
 注意報
 気象庁

気象庁 特別警報 検索

ポスター

福知山市花火大会火災を踏まえて

兵庫県

平成二五年八月一五(日)一時二八分頃、京都府福知山市由良川左岸で行われた花火大会において、露天商店舗が発電機に使用していたガソリンの火災により、死者三名、負傷者五七名の多数の被害者を出す事故が起きました。

これを踏まえて、消防庁から、イベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱時の留意事項が発表されました。

注意事項が発表されました。県としても、同様の事故を防止するため、各消防機関に対して多数の観客等が参加する行事の開催を把握した際は、事前に関係者に火災予防上の指導を実施するとともに、積極的に現地に赴き、露天業者等に対し、火災予防上の指導を実施するよう通知しました。

〔消防庁発表〕

福知山市花火大会火災を踏まえたイベント会場等におけるガソリン貯蔵・取扱時の留意事項
<http://www.fdma.go.jp/info/2013/20130820-1.pdf>

福知山市花火大会火災を踏まえた イベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱時の留意事項

《ガソリンの特性》

- ・ 引火点は-40℃程度と低く、極めて引火しやすい。
- ・ 揮発しやすく、その蒸気は空気より約3～4倍重いため、滞留しやすく可燃性の雰囲気易に形成されやすい。
- ・ 電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

《貯蔵・取扱時の留意事項》

- ・ ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発する機械器具等を用いない。例えばガソリンを取り扱っている場所から1m離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。
- ・ 静電気による着火を防止するためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず準備しましょう。
- ・ ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に夏期においてはガソリン温度が上がってガソリン蒸気圧が高くなる可能性があることに留意しましょう。
- ・ 取扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等、取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払きましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立ち入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。
- ・ ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例
(金属製容器であることが必要)



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
(樹脂製容器は火災危険性が高い)

「住宅防火・防災キャンペーン」の実施

「敬老の日」に火の用心の贈り物

全国の住宅火災による死傷者は平成一五年以降連続して一、〇〇〇人を超える高い基準で推移しており、その約七割が六五歳以上の高齢者となつていきます。高齢社会の進展に伴い、住宅火災による死傷者のさらなる増加が懸念されていくところです。

高齢者を中心とした住宅火災による死傷者数を減少させるためには、火災を早く知ること、火を早く消すこと、火を拡大させないことが大切です。

そこで、消防庁は、高齢者

を住宅火災から守るため、九月一七日の敬老の日に、住宅用防災機器を高齢者に贈ることを呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を実施しています。

この機会に、いざという時に備えて、身近な高齢者に住宅用火災警報器や住宅用消火器、防災品などの住宅用防災機器等をプレゼントされてみてはいかがでしょうか？

いざという時に備えて住宅用防災機器等(住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアソール式携帯消火器・防災品など)を身近に備えましょう。

敬老の日「火の用心」の贈り物

住宅用火災警報器

すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。電池切れで方角一瞬に作動しなかったということがないよう、定期的に作動確認することが大切です。

消防庁
キャンペーンポスター

平成二五年度 防災普及広報用ポスター

公益財団法人日本防災協会において、住宅防火対策の一環として防災品の必要性や意識高揚を図る目的で「防災ポスター」を作成されました。

今年度のポスターは、住宅

内での着火事故、特に高齢者を住宅火災から守るために防災品を贈り、使用していただくことをアピールする内容となっております。



- ・ 操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・ 小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・ 小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・ 消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・ 消防用資機材全般



西垣消防器具製作所

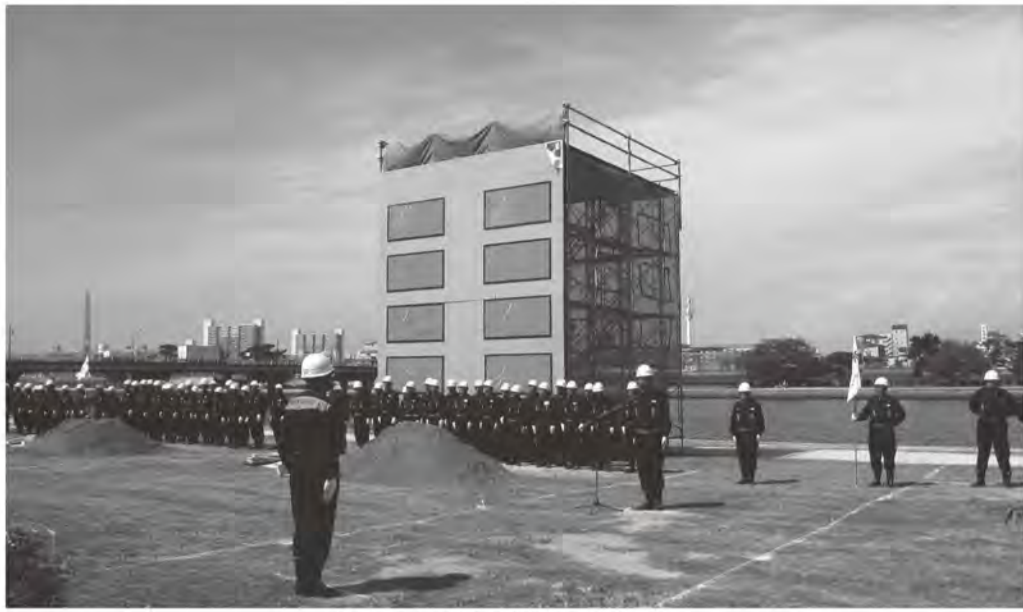
669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp





島田団長へ各隊が集結報告を行います



一斉放水



尼崎市消防団 島田団長



平成二五年度 尼崎市防災総合訓練実施

尼崎市消防団水防工法訓練!! 市内六地区対抗で熱戦競技!!

取材協力：尼崎市消防団

記事：(公財)兵庫県消防協会

平成二五年度八月三〇日(金)武庫川左岸河川敷において、平成二五年度尼崎市防災総合訓練が開催されました。この訓練は、地震・風水害等の災害時において防災関係機関が緊密な連携協力のもと

に、迅速かつ適切な災害応急対策が実施できるよう、地域における防災体制の確立を目的として行われるものです。訓練当日は、台風が接近しているにも関わらず天候に恵まれ、暑い日差しの中、関係

各機関から総勢八〇〇名以上が参加しました。訓練想定は、平成二五年度八月三〇日(金)午前九時五分、紀伊半島及び四国沖の海底を震源とするマグニチュード九・一の海溝型地震が発生、瀬戸内海沿岸に大津波警報が発表され、尼崎市は震度六弱の地震と津波により道路の通行障害、通信の途絶、電気・ガス・水道施設等に相当の被害が発生、各所で家屋が倒壊、火災が多発、負傷者・避難者が続出し被害が拡大しているという想定のもと、実施されました。

実施された様々な訓練項目の中、避難誘導訓練・水防工法訓練・火災防備訓練におい



土のうをきれいに並べていきます



土のう作りの様子



完成!

て、多数の消防団員が参加し、日頃の訓練成果を大いに発揮されていました。その中でも、一番の盛り上がりを見せていたのが、「水防工法訓練」です。

この度兵庫消防では、この「水防工法訓練」をクロスアップして取材させていただきました。

三段積土の工法を競技方式により実施するものです。一五分以内という時間内で、決められた数の土のう(下段二〇俵、中段一九俵、上段一八俵、控一九俵)を作り、その上決められたスペースの中で、いかに速く美しく隙間無く成形できるかが勝負の分かれ目です。積み上げた土のう

この訓練は、尼崎市市内六地区から消防団員各二一名を選抜し、六隊の機動隊(一・二・六名)を編成して水害発生時における水防工法の技術向上を目的とし、

が崩れてしまわないように、鉄杭も打たなければなりません。鉄杭を打ち込む深さや間隔も決められています。土のうの周りを土砂で踏み固め完成となりますが、どの作業工程も、かなりの重労働であることは、言うまでもありません。

参加された消防団員の皆さんは、汗びっしょりになり、大きな声で互いに声を掛け合いながら、一生懸命取り組んでおられました。

周りからの大きな声援も受けつつ実施された、水防工法訓練の競技結果は、次の通りとなっています。

- 第一位 立花地区
- 第二位 武庫地区
- 第三位 大庄地区



島田団長と優勝した立花地区の皆さん（土のうの前で）



表彰式



立花地区三反田分団
岡村分団長（左）
南塚口分団
高谷分団長（右）

訓練終了後、優勝された立花地区の三反田分団岡村信男分団長と、尼崎市消防団島田幸司団長からお話をうかがうことが出来ました。

岡村分団長によると、立花地区からの出場消防団員の年齢層は二〇代から七〇代までと、とても幅広く、皆お忙しい中、夜間に集中して練習を行われたそうです。地区内の消防団員の方々は、皆さん協力的で、とても助かりましたとおっしゃっていました。

「今のお気持ちはいかがですか？」とお尋ねしたところ「嬉しいで

す!!」と、最高の笑顔で答えて下さいました。

島田消防団長は、「消防団員というステータスを持ち、何事にも精通して災害対応に取り組めるレベルを維持するために、やはり日々の訓練が大切です。本日の結果についても、日々の訓練の賜物です。この水防工法訓練は、体的にとってもしんどい訓練ですが、皆さんが頑張ったことで、私も本当に嬉しかったです。」とおっしゃっていました。

島田消防団長からお聞きしたお話や、この度の取材を通して強く感じたことは、団員の方々一人ひとりの「我がまちを守る」というプライドが活動の根幹を支えているのだということでした。そして、消防団員の皆さんの日々の訓練が、有事の際に、私達市民の命や財産を守って下さることに繋がるといふことを目の当たりにすることが出来ました。

近年、全国的に多発しているゲリラ豪雨など、災害はいつどこで発生するか分からない状況にあり、その種類も多様化しています。災害の種類に応じた迅速な行動が、被害の規模に大きく影響します。その為、日々の訓練で基本動作をしっかりと身につけておくことは欠かすことができません。

県内の各消防団で、ポンプ操作において競技方式を実施している消防団はたくさんありますが、今回取り上げた尼崎市消防団のように、水防工法訓練においても競技方式を実施している消防団は少ないのではないのでしょうか。各地区が競技をとおして切磋琢磨することは、訓練にも熱が入り、技術の向上はもちろんなること、団員同士の固い絆にも繋がると思います。

最後になりましたが、取材にご協力下さった尼崎市消防団島田団長をはじめ、団員の皆様、関係各所の皆様に御礼申し上げます。

「兵庫消防」取材班は、県内各地へ取材にうかがいます。各消防団ならではの訓練、行事やイベントなどございましたら、いつでもご連絡下さい。ご協力、よろしくお願います。

平成二五年九月八日（日）
芦屋市消防庁舎にて、毎年の恒例行事となっている「救急の日」の催しが開催されました。催しのテーマは「大事です 救急車がくるまでが」ということで、当日は親子連れを中心に、たくさんの方が参加しました。



子供達で大賑わい！ 芦屋市消防庁舎にて 「救急の日」の催し開催！

取材協力：芦屋市消防本部
芦屋市消防団
記事：（公財）兵庫県消防協会



AEDの使い方



市民へ心肺蘇生法の指導を行います



パーティーズと一緒に参加者もCPR体操



救急クイズ大会！



消防士に変身中

第一部では芦屋市消防団バーディーズが「CPR体操」を実演し、参加した市民の皆さんも身体を動かしながら、「安全確認」「反応確認」「応援要請」「呼吸確認」「胸部圧迫」「人工呼吸」と、一連の流れを楽しみながら学べる構成になっていました。

第二部では、参加者が実際に訓練用の人形を使い、救急隊員と消防団員の指導の下、心肺蘇生法やAEDの使い方や、救急講習や、救急クイズ大会、体験乗車・写真撮影・バルーンアートなどの子供向けの催し、救急車及び救

急資機材の展示、医師や看護師への救急医療相談等、大人から子供まで楽しめる盛りだくさんの内容で盛況のうちに終了しました。

このように市民が楽しめるイベントを通して、救急蘇生法の正しい知識、技能の普及啓発を図ることは、いざという時に大切な人を守ることに繋がります。

実技講習中、参加者から救急隊員や消防団員へ積極的に質問されている姿を多く見かけました。市民の皆さんが学ぶ「機会」や「場所」を作ることが、まず第一歩だと感じました。今後も、市民の皆さんの救急救命への意識向上を図るため、消防本部・消防団が一致団結し、普及啓発活動に尽力していかねばならないと思います。

消防団ピクニック

市民の安全安心のため

たつの市消防団

たつの市消防団は、一市三町（旧龍野市・旧新宮町・旧揖保川町・旧御津町）の市町合併に伴い、平成一八年四月一日に新たに発足しスタートしました。

現在、一団・四七分団で構成され、団員定数一、五〇〇人となっています。

機動力としては、消防ポンプ自動車二〇台・小型動力付

き積載車二八台で、たつの市民の安全安心のため、日夜レッドパトロールを実施しながら地域に密着した活動を続けております。

平成二五年度は消防団員教育訓練として、新入団員研修会、普通救命講習会、機関員講習会を開催しました。

新入団員研修会は、今年度四月一日付けで消防団員に任



講義の受講風景

命された五〇名が参加し消防団員としての心構えや法令などの講義を受けた後に、西はりま消防本部たつの消防署職員による指導のもと規律訓練を実施し、消防団員として必要な基本訓練を教え込まれました。

海水浴客が増えるシーズンとなる六月には、海に面した地域において、水の事故を想定した普通救命講習会を消防団員六〇名が受講し、心肺蘇生法の基礎知識や必要性についてDVDで確認後、心肺蘇生法・AEDの取り扱いや様々な想定訓練などを繰り返し行い、生命の大切さを学びました。

機関員講習会では、各分団で機関員を担当する団員が消防ポンプや小型ポンプに対する知識・技術の向上を図るため、専門業者を講師として迎え、各ポンプの構造・性質などの基礎となる講義を受けました。実技ではポンプ自動車と小型ポンプを実際に使用して説明を受けたほか、消防団



規律訓練前の服装点検



普通救命講習会

員からは積極的にポンプに関する質問事項を講師に投げかけ、実践に向けた実りある講習会となりました。

こうした研修会・講習会は、消防団員の士気高揚を目的として毎年実施しています。

災害から市民を守るだけでなく、これからは減災に向けた活動にも全力を注ぎ、今以上に地域住民と密着し、「市民の安全安心のため、自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えを基本として、更に地域に溶け込んだ活動を行ってまいります。

豊岡市消防団消防操法大会を実施しました

豊岡市日高消防団



開会式

豊岡市は、平成一七年に一市五町が合併しました。消防団は、県内一広い地域において、様々な態様の災害に迅速に対応するために、現場に近くであること、また地域に即応した消防団活動を継承するために、旧市町ごとに消防団組織を構成することが望ましいことから、一つの市内に六つの消防団を配備する多団制を採用しています。

市町合併してから八年が経過しましたが、平成二五年八月四日に第一回目の「豊岡市消防団 消防操法大会」を開催しました。市内の六つの全消防団が一堂に会する初めての機会となりました。この操法大会を開催するにあたり、



ポンプ車の部

各団から実行委員を選出し、大会運営についての調整を行いました。各団での取り組みの違いなどもあり、議論が交錯することもありましたが、同じ豊岡市の消防団員として六つの団が一体となって、大会を開催することができました。



小型ポンプの部

た。大会には各団から選抜された代表チームとして、ポンプ車の部には四団、小型ポンプの部には五団が参加し、速さ、正確性、規律の正しさを競いました。

当日は、午前中から三〇度を超える暑さにもかかわらず、出場チームの選手は、各団の威信にかけ、きびきびとした動作で、一つ一つの動きを的確にこなしていました。各チームとも訓練成果を十分に発揮し、僅差で順位が決まり、各団の消防操法の高い技術力を改めて確認することができました。

この消防操法大会を契機として、各団との連携を深め、豊岡市民の安心・安全を守るため、豊岡市の六消防団が一致団結し、更なる消防力の向上を図りたいと思います。

大会結果は次のとおりです。

- ポンプ車の部**
- 優 勝 豊岡市出石消防団
- 準優勝 豊岡市豊岡消防団
- 小型ポンプの部
- 優 勝 豊岡市日高消防団
- 準優勝 豊岡市竹野消防団

わが町の団長さん

「地域を愛する心で」

神戸市北消防団長

小西 元八



防災訓練時、小西団長のよく通る重みのある声が響き渡ると、いつも背筋が伸びる思いで消防団員としての自覚を再認識させられます。

小西団長は、昭和四六年に入団されて以来、誠実なお人柄と強い責任感、的確な判断力で団員はもとより地域住民のリーダーとして活躍されています。

阪神淡路大震災発生時も、当時副支団長としていち早くその状況を把握し、団員の先頭に立って救援救助に奔走されました。その姿は、今も若い団員たちの模範となるものです。団長として親子二代、お父様から受け継がれた地域を愛する心と消防への熱き想いと功績は、昨年、藍綬褒章受章という形になりました。

神戸市北区は、六甲山系の北部西宮・三田・三木の三市に隣接した田園風景の中に新興住宅街が広がる緑豊かな地域です。神戸市北消防団としてスタートして今年で三〇年。

八支団一、〇三六名をまとめる要として益々その指導力を発揮されることでしょう。

趣味はシングルに一步手前のゴルフとプロ級のカラオケ。サブちゃんばりの歌声が響く時が団長の気分転換のひと時かもしれません。

「地域の安全・安心を守る消防団長」

神戸町消防団長

小岩 等



神戸町は平成一七年一月に神崎郡神崎町と同郡大河内町が合併して新しく誕生しました。

兵庫県の中央部に位置し、県内各地から約一時間半の交通域にあり、人口約一二、三〇〇人余り、面積二〇二・二七平方キロメートルで、地図で見るとちょうどハートの形をしています。

映画の舞台にもなった大河内高原と越知川に代表される豊かな自然や農産物、多数の観光資源、文化・スポーツ施設を有するなど、心の豊かさを育むための環境が充実し、また各集落における住民主体の自治活動も活発に行われており、県内で最も小さな町ながら、キラリと光るハートがふれあう住民自治の町を目指しています。

小岩団長は平成一一年四月

に入団以来、分団長、副団長を歴任後、平成二四年四月に団長に就任されました。就任後は旧町の隔たりを無くし町内の消防団員の心を一つにすることでさらなる消防力の強化を目標に、三二分団七〇九名の団員をまとめ、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の安全・安心のため献身的に活動されています。

そして、有事の際には長年の消防団活動で培われた経験を基に、的確な判断とその行動力により、団員はもとより地域住民からも厚い信頼を得られています。

また、団長は団を預かる責任者として、常々有事出動時は『団員の安全が第一』とお考えで、活動時の安全確認・安全確保の大切さを時に厳しく、時に諭すよう団員に伝えておられます。

そのためには、操法訓練を通じた礼式訓練をはじめとする様々な訓練を重んじ、自ら率先して指導されています。近年の異常気象により災害も複雑多様化の傾向にあり、地域住民の消防に対する期待はさらに大きくなっている中、団員確保が困難な状況ではありますが、地域社会の幅広いニーズに答えられる有事に強い消防団を目指し日々努力をされている団長です。

われら若手消防団員

消防団員としての自覚

相生市消防団 第9分団 濱野 行生



私は、消防団に入団し一〇年以上になります。その間、自分を取り巻く環境の変化や様々な体験をした事により、入団時とは意識が変わってきたと思います。

昨年、相生市代表として、消防操法大会ポンプ自動車部に出動させて頂き、多くのスタッフ等の指導のもと練習に励みましたが、自分自身納得のいく動きは出来ませんでした。しかし、選手・スタッフ等と共にやり遂げた達成感や悔しさを共有し、非常に強い仲間意識を持つことができたと考えております。

私たちにできること：コツコツと

三木市消防団

みつきいファイヤー

昨年四月に、三木市初の女性消防団員になった仲良し三人組のママさん達です。

平成七年の阪神淡路大震災以降、自主防災組織が結成され、地域をあげて毎年防災訓練が行われています。

今年一月の訓練には、初めて消防団の救助資機材搭載型車両とポンプ車が参加。私たちも消防車に同乗し初出動(緊張の連続)。男性団員が倒壊家屋から三名を救出、地域の方と協力して救助所へ搬送、応急処置(AED・心肺蘇生・骨折の固定など)を

実施し、トランシーバーを片手に救急車の誘導など、消防団と地域の皆さんとの連携した訓練を行いました。私たちの活動を知ってもらおう機会となりました。

二月には、小学校の校



みつきいファイヤー

田中優子 生田佳代 松井美保

最後に、消防団員になって、私たちの子供は「お母さんカッコいいね」と頑張りなきや、周りの人たちの応援に励まされ、これからも明るく楽しく前向きに活動を続けていきたいです。応援よろしくお願いたします。

がんばってます、女性消防団員



地域のお知らせ

神戸市垂水区

わが垂水消防団

垂水区は、神戸市の西の端に位置し、かつては南に小さな漁村、北は農業を営む農村であったまちが、昭和四〇年頃からニュータウンとして開発されはじめ、今では人口二万人を超える住宅を中心とする市内でも指折り数える大きなまちに発展しました。区内には、住宅のみならず五色山古墳や明石海峡大橋、アジュール舞子やマリニピア神戸といった観光名所も数々あります。

塩屋、名谷、東高丸、東垂水、西垂水、多聞、舞子の各分団が配置されています。各地域に様々な行事が存在していることが大きな特徴でもあり、各分団はそれらの警備や応援など、消火活動以外にもまさに地域に密着した活動がなされています。

特に、塩屋駅前に位置し官幣中社である海神社秋祭の催行においては、御神輿と布団太鼓の巡行は、消防団が運営の核となり実施されています。

そうした都会的な中でも、何となく田舎めいた雰囲気も漂う中に、神戸市垂水消防団の八つの分団が地域の安全を守っています。「田舎めいた」というのは、各分団がそれぞれ垂水区内における旧村地域をベースに組織されているからです。東から、下畑、



御神輿を乗せ海上の安全を願う

この御神輿の巡行は、塩屋、東高丸、名谷、西垂水、東垂水の五分団が五年に一度の割合で責任を分かち合い、布団太鼓は名谷以外の四分団が各地域で巡行後、垂水駅前や海神社への宮入りがなされています。また、舞子分団と

多聞分団の地域では、それぞれ六神社と呼ばれる神社があり、同様の行事が催行されています。

市街地消防団でありながら、各分団と分団員の固い結束が図られている神戸市垂水消防団は、こういった地域行事によって育まれているといっても過言ではありません。そしてその「結束」こそが、いざ火災や災害現場での消防・救助活動の原動力となっていると考えられます。



下り坂を駆け抜ける東垂水の太鼓



電飾で一層凄みを増す太鼓



迫力ある西垂水の太鼓

弥生の鍛冶工房 五斗長垣内遺跡

淡路市



五斗長垣内遺跡



五斗長垣内遺跡活用拠点施設

は、播磨灘や瀬戸内を行き交う船が一望でき、その向こうには家島群島の島影や播磨地域を見渡すことができます。また、県の地域再生大作戦のメニューなどを活用して、平成二五年五月には、五斗長垣内遺跡の横に古代体験学習や休憩などができる「史跡五斗長垣内遺跡活用拠点施設」が完成し、地元住民や関係者らが出席して完成式が行われました。この施設ではまが玉作り体験ができる多目的室や休憩スペース、会議室、出土品のレプリカの展示コーナーなどが設置されているほか、地元食材を使用したカフェのオープンも計画されています。

なお、施設内の電力は太陽光発電装置を設置してまかなっているほか、下水を再利用する循環型トイレも設置。災害時には、地元住民の避難施設としても利用されることになっています。

五斗長垣地区は山に囲まれた静かな集落です。一、八〇〇年以上もの昔の弥生時代、古代の人がそこに住み、鉄器作りを行っていたという事実に触れてみるのも趣きがあるのではないのでしょうか。



鉄器づくり

編集後記

朝夕はめつり涼しく、過ごしやすくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月号も各地区から多数の寄稿をいただきありがとうございます。さて、今月号では、第二回全国女性消防操法大会に向けて丹波市女性消防団の皆様が意気込みを掲載しております。兵庫県代表として、日頃の訓練の成果を発揮し、立派な成績を収めることができるようお祈り申し上げます。

また、記事にも掲載しているとおりですが、八月三〇日から特別警報の運用が始まりました。この夏は記録的な大雨が全国各地で降り、山口県で大きな被害をもたらした集中豪雨をはじめ、いずれも特別警報が発せられるようなケースでした。今後は、注意報・警報・特別警報の気象情報に気を配りながら、災害時に身を守る最善の手段とされるよう心がけましょう。これから本格的な台風シーズンが到来します。消防団員の皆様が出動する機会が増えると思われると思います。活動時は自己の安全確保に努め、事故等にはくれぐれもご注意ください。

